

# 大阪市立大学 同窓会 報

第 4 号

発行：大阪市立大学同窓会

http://www.osaka-cu.net/

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138

大阪市立大学 田中記念館 有恒会事務局 TEL:06-6605-2087

## 西澤良記・理事長兼学長 再任

### 地域発展と成長を支える 知的インフラ拠点目指す

### 新大学に向け競争力を強化



再任にあたって

大阪市立大学理事長兼学長を引き続き2年間務めさせていたくにあたり、同窓生の皆様にご挨拶申し上げます。

この4年間で私は、本学の実績とともに様々な側面からの本学に対する評価を分析し、「纏まりのある総合力の高いユニバーシティ」「学生と教員の親密な距離感のある教育」「都市研究のハイオニア」といった本学の伝統・特徴を活かし、公立大学であることを踏まえ「社会をリードし地域で活躍する人材の育成」や、「研究成果による社会や地域への成長の貢献」といった方向性を本学の使命として掲げました。そしてその実現をめざす重点戦略として①「都市大阪のシンクタンク・都市科学分野の教育・研究・社会貢献」②「専門性の高い社会人の育成」③「国際力の強化」を3戦略として

打ち立て、それを核とした第二期中期計画を策定し、数々の取り組みを行って参りました。また、本学の大きな特徴として医学部附属病院を擁していることがあげられます。附属病院は予算規模で6割、教員数で3分の1を占める大きな組織です。これまでも、高度で専門性の高い医療の提供や、がん疾患や肝疾患等の拠点病院として地域医療サービスの中核を担うとともに、優秀な医師の育成に尽力してまいりました。またこの間、手術室の増設などにより医療の充実と経営の安定化に努めてまいりました。特に、あべのハルカスに整備中の先端予防医療センターは、先端予防医療センターのナレッジキャピタルに開設した健康科学イノベーションセンターとも連携した市民の健康拠点としての役割を果たすだけでなく、健康人のデータ集積を行い、医学研究科や他研究科、他

大学との連携研究の充実を期待を寄せております。以上のように、既に重点戦略を推進する多くの取り組みをはじめとした様々な活動や、運営改革が具体化され成果を上げつつあり、各種ランキングにおきましても主要な国立大学にひけをとらない評価をいただけているようになってまいりました。同窓生をはじめとする関係の皆様のご理解、ご協力によるものと感謝するとともに、学長という職責の重さを認識しているところであります。

今後は、教育面においては、特に「国際力の強化」を重点とと考えております。国際化戦略本部を中心に、世界で活躍するグローバル人材の育成や、海外の大学との研究者や学生の交流に重点的に取り組んでまいります。このための共通教育の重要性は認識しており、特に現在試行しておりますグローバルコミュニケーションコースの拡充や国際交流の充実による英語力の強化を重点的に図ってまいります。さらには、COC教育プログラムを進めるとともに、グローバルとローカルの要素を織り込んだ大学教育を展開し、地域貢献

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

も沿った考え方として積極的に取り組んでまいります。また、本学のプレゼンスを高めるためにも国際的に秀でた研究者の招聘や、若手研究者の育成に取り組みます。また、産学連携につきましても、先端的な産学連携、とくに大阪を基盤とした企業との産学連携に努めてまいりたいと考えています。最後に、現在本学は大きな岐路に立っております。昨年9月に府市から本学と大阪府立大学との統合による新大学実現に向けて「新大学ビジョン」が出され、それに沿って府市と両大学で「新大学案(平成25年10月版)を取りまとめました。大阪府立大学とは、これまで連携協定による産学連携活動など連携を密にしてまいりましたが、今年度は、共同申請しておりました工学系のリーディングプログラムによる大学院教育においてもまたCOC教育プログラムで学部の共通教育において

## 平成25年度 卒業式

### 新たな門出を祝う

2014年3月24日、大阪府立大学卒業式・修士式が催された。当日は春らしい快晴となり、多くの人が卒業生・修生を祝福に駆け付けた。式は、学位記授与から始まり、本年度学士の学位は1434名、修士の学位は51名。続いて、学業成績優秀賞授与、研究業績優秀賞授与が行われ、西澤学長からの祝辞として、大阪市立大学も新大学へ向けて新たな門出に立つことを述べ、卒業生・修生に今後大阪府立大学を社会人として温かく見守ってほしいとの言葉を語られた。来賓祝辞では、卒業式の前日に当選が決まった橋下徹市長からも祝福の言葉が寄せられた。取材の印象として、卒業生の多くが、4年間の学生生活と部活動などを通して様々な経験をすることで人との繋がりが広がり、今後の人生に役立つことの喜びが、その笑顔から窺えた。(学生記者・石原奈甫)

## 平成26年度 入学式



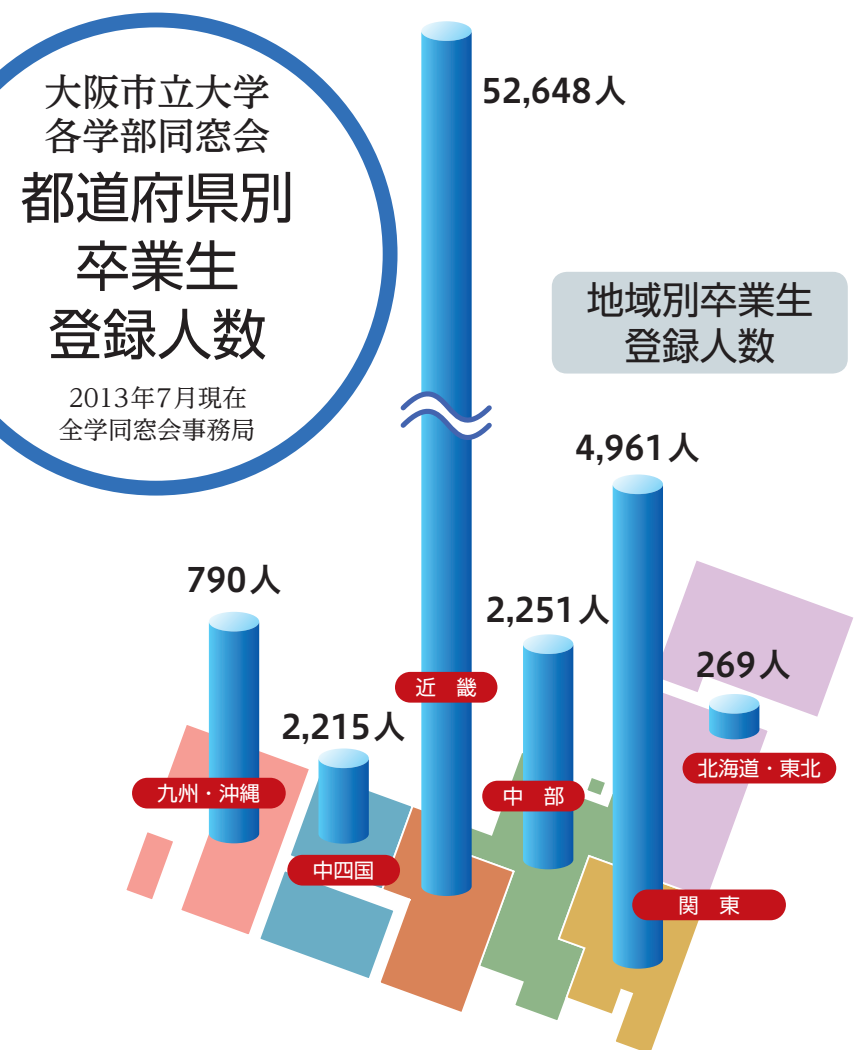
(大学広報室提供)

### 信念を持って道を開こう

2014年4月7日、大阪市中央体育館にて大阪市立大学の入学式が行われた。大阪市立大学交響楽団による「とりのトロロ」や「カヴァレリア・ルスティカーナ」などが響く会場で、スーツを身にまとった新入生たちが入ってくる。午前10時に、入学式が開会した。大学と大学院の各学部の入学者数が読み上げられたあと、西澤良記学長からは昨年オープンした健康科学イノベーションセンター、今年4月にあべのハルカス21階に開設された大阪市立大学医学部附属病院先端予防医療部附属クリニックなどの話があり、有恒会・元会



地域	都道府県	支部名	有恒会 (文系学部 同窓会)	理学部 同窓会	工学部 同窓会	医学部 同窓会	看護系 同窓会	生活科学部 同窓会	合計(人)	地域別 合計	比率
北海道・東北	北海道	北海道	58	7	14	5	12	8	104	269	0.43%
	青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	東北	12	3	2	1	4	22			
			10	3	3	2	1	17			
			45	7	22	2	2	76			
			8	2	1	1	2	14			
			4	3	1	3	1	12			
			10	2	7	2	1	24			
小計	89	17	36	6	6	11	165				
関東	茨城	未設置	57	35	77	5	3	19	196	4,961	7.86%
	栃木	未設置	24	5	30	2	2	4	65		
	群馬	未設置	25	1	33	1	2	11	73		
	埼玉 千葉 東京 神奈川	東京	288	43	176	3	10	46	566		
			519	71	240	7	14	89	940		
			1,026	103	399	51	40	175	1,794		
			652	98	419	12	23	123	1,327		
小計	2,485	315	1,234	73	87	433	4,627				
中部	新潟	未設置	25	7	7	1	3	43	2,251	3.57%	
	富山 石川 福井	北陸	51	15	16	13	10	105			
			89	7	33	2	18	165			
			124	15	34	6	47	250			
	小計	264	37	83	8	78	50	520			
	山梨 長野 岐阜 静岡 愛知	中部	9	5	9	1	3	27			
			47	11	18	4	7	97			
			112	14	44	6	9	18			203
			122	23	63	17	12	33			270
			662	45	265	7	22	90			1,091
319			40	134	8	39	52	592			
小計			2,481	257	889	86	125	331	4,169		
近畿	滋賀	京滋	633	79	274	8	38	88	1,120	52,648	83.39%
	京都	1,848	178	615	78	87	243	3,049			
	小計	2,481	257	889	86	125	331	4,169			
	大阪 兵庫 奈良 和歌山	近畿	16,858	1,967	5,941	2,785	1,568	2,600	31,719		
			4,455	453	1,910	463	297	845	8,423		
			3,388	437	1,353	344	222	542	6,286		
854	116	262	57	58	112	1,459					
中四国	鳥取	山陰	120	4	22	3	37	14	200	2,215	3.51%
	島根	83	5	16	3	27	12	146			
	小計	203	9	38	6	64	26	346			
	岡山 広島	中四国	199	43	62	11	31	34	380		
			239	20	116	10	29	34	448		
			67	12	45	1	16	20	161		
	119	19	44	8	26	25	241				
	179	19	57	9	37	28	329				
	117	12	26	3	29	27	214				
	50	12	10	5	7	12	96				
178	20	55	10	27	25	315					
24	1	3	1	4	3	36					
36	7	16	2	10	10	81					
42	6	11	2	21	6	88					
39	5	1	22	6	73						
39	3	14	1	14	4	75					
41	3	6	5	21	12	88					
14	2	3	8	3	4	34					
合計(人)	33,920	3,980	12,913	3,959	2,911	5,451	計 63,134人				
比率	53.73%	6.30%	20.45%	6.27%	4.61%	8.63%					



大阪市立大学の各学部同窓会卒業生登録者数(連絡可能者)は合計63,134人(2013年7月現在)で、内訳は文系学部(商・経・法・文)同窓会の有恒会が33,920人(構成比53.7%)理学部同窓会3,980人(6.3%)同様に工学部は12,913人(20.5%)医学部3,959人(6.3%)看護系2,911人(4.6%)生活科学部5,451人(8.6%)となっている。また、地域別には北海道・東北は269人(0.4%)関東4,961人(7.9%)中部2,251人(3.6%)で、近畿は52,648人(83.4%)と圧倒的に多く、中四国2,215人(3.5%)九州・沖縄は790人(1.3%)となっている。(都道府県別詳細は別表参照。このほか卒業生約1,000人の大学院

創造都市研究科同窓会あり)また、国内には有恒会中心に合計23支部があり、総会ははじめ各種イベントの開催など学部を超えた活発な交流が行われている。新支部結成に関しては全学同窓会事務局が支援・協力をを行う予定であり、支部未設置県の早期結成が期待されている。既に九州地区では鹿児島県等で新支部結成の動きがあり、このほか卒業生登録が200人以上の静岡県(270人)、岐阜県(203人)や工学部卒業生数に有恒会よりも多く、理学部卒業生も多い茨城県(196人)は新支部結成の有力候補である。(なお、海外には上海、バンコク、ジャカルタ等アジア中心に欧米含め10支部あり)(事務局)

(注1) ●上記はいずれも連絡可能者数。  
このほか大学院創造都市研究科同窓会として約1,000人の卒業生あり。

(注2) ●東北支部は青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県で構成。同様に東京支部は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、北陸支部は富山県、石川県、福井県、京滋支部は京都府、滋賀県、山陰支部は鳥取県、島根県で構成。

●なお、大阪府には大阪北支部、大阪南支部、北摂支部、兵庫県には神戸支部、宝塚支部、広島県には広島支部、福山支部あり。

●なお、海外には上海、バンコク、ジャカルタ等アジア中心に欧米含め10支部あり

## 同窓会 支部 だより

### 愛知支部 第26回総会・同窓会

去る平成25年11月14日、愛知支部の第26回総会・同窓会が名鉄ニューグランドホテルにおいて、参加者80余名にて盛大に開催されました。

冒頭、ご来賓として出席いただいた宮野副学長様・児玉同窓会長様・有恒会福岡副会長様からご挨拶をいただき、その後総会に入りました。今回は愛知支部長の改選があり、松原宏治支部長から長尾一彦新支部長へバトンが引き継がれることとなりました。松原支部長、2期4年の職務おつかれさまでした。

総会の後は三島幸男様(昭和30年・経)に乾杯のご発声をお願いし、懇親会に移りました。卒業年次・学部も様々な座席配置でしたが、昔の思い出話に花を咲かせ、あるいはビジネスの人脈づくりにと、あちこちで話の輪が広がりました。歓談の途中からは、松原支部長の知人のミュージシャンであるテツモト・ミキさんのピアノ演奏で会場の雰囲気には花を添え、その後は松原支部長のフォークソングもあり、盛り上がりしました。歓談のあとは、恒例の大抽選会を行いました。賞品総数が約40点で約半数の人に当たりが出るのですが、賞品をご提供してくださった皆様ありがとうございました。

そして最後は全員で輪になって、プロローグを春名様(平成20年・商)をお願いし、逍遙歌を合唱、内野政美様(昭和51年・経)ご発声による三本締めにてお開きとなりました。

### 神戸支部 平成25年度総会

9月後半にもかかわらず、まだまだ残暑厳しい中、76名の同窓生が集いました。

冒頭、神戸支部代表であるアシックスCEOの尾山支部長から開会のご挨拶とともに、プエノスアイレスにおける東京オリンピック・パラリンピック2020決定過程の秘話が披露され、集まった一同が興味津々に聞き入り、唸った次第です。その後、大阪市立大学同窓会児玉会長から全学同窓会・大阪市立大学同窓会の概要と具体的活動について、精力的な取り組みのご紹介があり、改めて同窓会

活動活発化の必要性を認識いたしました。

懇親会では、ご来賓の桐山副学長と福岡有恒会副会長からご挨拶を、昭和39年理学部卒業の川手さんから乾杯の発声をいただきました。ゼミやクラブ活動の思い出話、ビジネスのお話などに花が咲き、あっという間に時間が過ぎ去りました。

最後に、事務局の水口さんから支部会報創刊にチャレンジしたいとお話があり、皆さんに原稿作成のお願いをし、副支部長を仰せつがっている私からは「次回は一人名多くの同窓生を引き連れてきてほしい」と呼びかけ、名残惜しいとの声がある中、お開きとなりました。

(昭和55年法学部卒 梅村晋一)

### インドネシア支部 第1回・第2回懇親会

平成25年12月6日、念願の第1回懇親会(会員の半数以上となる7名の参加により)を開催。

名誉会長には三好氏(商・S45卒)、会長には亀井氏(経・S62卒)が選出され、支部長は安藤氏(生・H07卒)に決まりました。

現在の会員数は13名で、ジャカルタ近郊に在住の方がほとんどですが、日本を拠点にインドネシアで活躍されている方もおられます。今後は「インドネシア支部」の名の下、スラバヤ、バリ、カリマンタンとインドネシア全土に同窓生の輪を広げていきたいです。

そもそも当会の発足は、医学部教授であり、国際交流委員会委員長も兼任される大畑教授のお口添えから始まったものです。市大のグローバル化戦略のためインドネシアに訪れ、インドネシアにおける同窓会の復活を強

力に後押しして頂きました。その後、有恒会事務局での打ち合わせ、国際センター所長中川教授とのジャカルタでの会談を経て、ようやく懇親会を開催するに至りました。

第2回懇親会は三好名誉会長を迎え、前回は上回る会員の参加を図るため、開催予告を「じゃかるた新聞」に掲載して頂きました。その効果もあり、今回は9名の参加となりました。

まず学長からのお祝いのメッセージを披露し、大学の当支部への期待の高さを認識しました。

今後はゴルフ三商大戦など、他大学の同窓会とも交流を深めようという意見や、日本の同窓会本部との連絡を密にし、海外から市大を盛り上げていこうという意見も出ました。



後列左から 和田 義弘(工・S61)、西村 基(商・S53)、三好 克治(商・S45)、亀井 生朗(経・S62)、下内 博雄(経・H05)、前列左から 石原 裕士(法・H12)、安藤 泰(生・H07)、岸本 進也(理・H22)、田宮 久弥雄(経・H13) ※敬称略

(紙面の都合上、出席者の氏名が掲載できなかったことをお詫びします)

TOPICS 同窓会

第8回有恒会支部代表者会議開催



倉持会長の挨拶

案内によりキャンパスツアーが行われた。学術情報総合センター屋上に完成した屋上庭園は「はばたけ夢基金」で設置された。その後、昨年オープンした人工光合成研究センター、新しく春にオープンする理系共通実験棟、南部ストリートから入り号館(時計台)までまっすぐに望める「けやき通り」など大学の施設整備の様子を見学した。

第8回有恒会支部代表者会議が3月8日(土)大阪市学術情報総合センター1階文化交流室にて開催された。会議には全23支部中22支部の代表者26名が参加した。有恒会本部からは倉持治夫会長と各副会長並びに来賓として桐山孝信副会長、児玉隆夫全学同窓会会長らが出席した。

理同窓会講演会

理学部同窓会主催の講演会が、平成25年12月19日、本学複合先端研究機構教授(兼理化学科教授、人工光合成研究センター所長)神谷信夫先生を講師に、理学部学生、院生を対象に催された。



神谷所長の講演

神谷先生は光合成PSII研究の世界のトップランナーのお一人で、今回は「光合成の謎を解く鍵ーマンガノクラスターの分子構造」の演題で、研究成果だけでなく、それに至った考

有恒会が大学の運営について活発な議論をしていただき、支援をいただいていることに感謝します。本日もいろいろのご意見をいただき参考にさせていただきます。

部総会に参加したりして全学同窓会のPRを行ってきまして。有恒会がベースとなり、大きな負担をかける部分が多いのが現状です。全学同窓会が自立できるような各支部と協力する

第6回 戦没学友の碑 献花の集い



(大学広報室提供)

今年も平成26年4月10日(木)杉本キャンパス内「戦没学友の碑」前で行われた。「戦没学友の碑」は平成14年4月キャンパス内に建立され、平成21年より毎年献花の集いを行っており、ご遺族の方をはじめ建立の会の方々、大学関係者、同窓会

討議の主たる要点 主に、支部の活性化のために実施しているイベントやノウハウについて、各支部より次の報告があった。同窓会報を発行しているフェイスブックを作成して情報発信している。女性や若手が参加しやすいように会費を安くしたり、家族も巻き込んだイ

工学部同窓会第25回評議員会並びにキャンパス交流会開催

平成26年2月15日(土)午後一時より大阪市立大学学術情報総合センター文化交流室において工学部同窓会第25回評議員会並びにキャンパス交流会が開催された。40名近い評議員が集まり、前年度の事業報告並びに平成26年度の事業計画が審議された。第25回評議員会では(一)同窓会活動の原資となる終身会費収入の減少への

生活科学部 ホームカミングデー

11月3日の全学ホームカミングデーに併せて開催された。世話人は、細田みぎわ氏(住居・S57卒、現広島女学院大学教授)、北本裕之氏(住居・S62卒、現美作大准教授)、長瀬のりか氏(住

田中記念館の改修について

現在、学内外にバラバラに配置されている同窓会や退職会、教育後援会など、ポーター組織を田中記念館に集約すると共に、大会議場、展室、レストラン(メタセコイヤ)についても卒業生や在学生の交流の場、

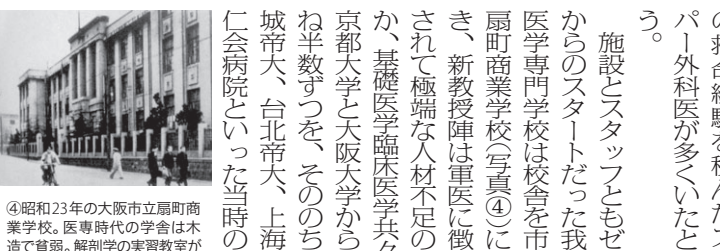
大阪市立大学 医学部の歴史 I 田中祐尾 (医昭44年卒)

このたびは本学同窓会から「医学部の歴史」として知られる秘話など、連載のお勧めを受け、医学部同窓会機関誌「仁濟」にすでに連載中の内容を素直に書かせていただくことになりました。(3回連載の予定)



①昭和31年竣工の附属病院新館。当時新館なデザインで威容を誇ったが、病室・廊下幅、底などは狭かった。患者数だけは当時日本一だった。

現在の医学部が正式に大阪市立大学医学部として発足したのは昭和30年4月だった。附属病院は翌31年現在と同じ位置に鉄筋7階建て、正面が内側に湾曲したスマートな容姿(写真①)で、28年竣工の基礎学舎がこれを補った(写真②)。



④昭和23年の大阪市立扇町商業学校。医専時代の学舎は木造で貧弱。解剖学の実習教室ができたのが昭和24年だった。

編集後記

事務局が都道府県別の卒業生の所在地を実態調査した。この調査に基づき、有恒会の23支部をベースに地域における同窓会活動が横断的に活性化し、市大同窓会の組織基盤の強化に繋がればと思つた。